



第2学期が始まりました

夏休みも終わり、明るく元気な生徒たちとともに2学期を迎えることができました。1学期の終業式では、生徒たちに夏休みを迎えるに当たって、普段学校で学んでいることを活かして家庭や地域の中でさまざまなことに挑戦してほしいと話しました。

この夏休みの間も、暑さの中でも一生懸命に部活動に取り組む姿や、五中代表としての市の行事等に参加し活躍する姿、ジュニアリーダーズをはじめボランティアとして地域の行事で自主的に活動する姿など様々な場面で生徒のがんばる姿を見ることができ、とてもうれしい気持ちになりました。

始業式の朝、笑顔で登校してくる生徒の姿からは、一人一人が充実した夏休みを過ごした様子を感じられました。

さて、2学期のスタートに当たって、生徒には「一人一人がそれぞれの目標に向かって、今を大切に生活してほしい」ということを話しました。すぐに結果はでなくても、今努力していることは必ず自分自身の糧となって将来の自分自身につながっていること、3年生には自分が目指すべき進路の実現に向けて、1・2年生にはこれまでの学校生活をさらに充実させてほしいこと、そして、9月からはじまる部活動の新人戦では3年生から受け取ったバトンを引き継いでがんばってほしいと話しました。

今学期も、「生徒を認め、任せ、伸ばす」をキーワードに教育活動を進め、「自分ならできる」という自己効力感を高めることで、生徒の成長を支えていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、一人一人を伸ばしていきたいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。（文責 校長）

生徒代表あいさつから 3年生 大曾根 悠来さんの発表

これからの自分

中学校最後の夏休みが終わった今、僕は2学期に頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、勉強です。3年生にとって大切な夏休み、僕はこれまでの人生の中で一番勉強しました。そこまで勉強を頑張れた理由は、「自分の行きたい高校に合格したい」という思いが強くなったからです。僕は、1、2年生の時に全然勉強をしておかなかったのが、今、とても大変です。今、1、2年生に言えることは、のちに「この高校に行きたい！」と思った時のために、勉強を頑張ることです。これは本当に強くおすすめします。そして、2学期はいよいよ私立の受験校を決定します。3年生のみんなに負けないうらい勉強して、志望校に合格できるように頑張りたいです。また、受験は「団体戦」なので、その意識をしっかりとクラスでもって、共に励んでいきたいです。

2つ目は、花芯祭です。3年生にとってこれが最後の学校行事です。僕は、伴奏を努めます。夏休みは、勉強の合間にピアノもたくさん練習しました。去年は「伴奏者賞」を取ることができたので、今年も取りにいきたくと思います。そして、クラスのみんなの歌を伴奏で支え、金賞を取りたいと思います。振り返った時に、このクラスで良かった、楽しかった、と思えるように、全力で取り組んでいきたいです。

このように、2学期は中学校最後の行事があり、受験勉強も本格化します。限られた時間を有意義に過ごし、五中生としての意識を高めていきたいです。